

学部まで記入してください。

山口大学大学院連合獣医学研究科 教員候補者調書

現所属	山口大学共同獣医学部	現職名	准教授	氏名	やまぐち たろう	昭和 年 月 日生 (歳)
					山口 太郎 印	

① 申請者の学歴・資格・活動等				学科まで記入してください。		
a. 大学	山口大学 農学部 獣医学科	昭和 平成	卒業	f. 主な学会活動及び経験 日本獣医学会評議員 日本産業動物獣医学会員		
b. 大学院	山口大学大学院 連合獣医学研究科 獣医学専攻	昭和 平成	修了			
c. 博士学位	博士 (獣医学)	取得年月日 授与大学名	昭和 平成 年 月 山口大学			
d. 学会賞またはそれに準ずる賞名と受けた年月				g. 博士課程の学生指導又は学位審査に関する経験		
日本獣医学会奨励賞		平成 18 年 9 月		経験あり： 山口大学大学院連合獣医学研究科 第1副指導・副査 4件 第2副指導・副査 1件 経験なし：		
e. 論文	論 文					h. 博士の学位を持たない場合、これに相当すると認められる業績内容
	区分	学会誌及びこれに準ずると認められるもの 教員資格審査基準適合論文				
		総数	筆頭著書数 (実数を記入)	corresponding author の数 (筆頭著書数を含まない実数を記入)		
	既発表	0	0	0		
最近5年間の数	0	0	0			
② 研究科・連合講座等				③ 特記事項		
研究科	山口大学大学院連合獣医学研究科 (山口大学所属)					
連合講座	臨床獣医学					
連獣担当授業科目	臨床獣医学特別講義Ⅲ 臨床獣医学特別演習Ⅲ 臨床獣医学特別実験Ⅲ		講義、演習、実験の順で記入してください。 ローマ数字については「別表」を参照してください。			

※担当授業科目Ⅰ，Ⅱ，Ⅲの区分については，以下を参照してください。

◎基礎獣医学講座

細目	授業科目名
神経解剖学 細胞組織化学 比較内分泌学 脈管解剖学 比較解剖学 実験動物機能学 動物解剖学 生殖生物学 鳥類脈管学 糖鎖生物学	基礎獣医学 特別○○Ⅰ
比較生理学 神経生理学 繁殖生理学 分子生理学 動物生産生理学 細胞生理学	基礎獣医学 特別○○Ⅱ
分子病態学 病態薬理学 生物機能薬理学 細胞薬理学 比較薬理学 分子細胞薬理学 分子獣医学 獣医生化学	基礎獣医学 特別○○Ⅲ

◎病態・予防獣医学講座

細目	授業科目名
動物微生物学 病原微生物学 感染病態学 感染制御学 感染制御学 家畜伝染病学 分子ウイルス学 感染症学 獣医伝染病学 衛生微生物学 分子新興感染症学 新興感染症分子免疫学 分子寄生虫学 感染免疫学	病態・予防獣医学 特別○○Ⅰ
環境獣医病理学 免疫病理学 腫瘍病理学 比較病理学 環境病理学 獣医神経病理学 実験病理学 感染病理学	病態・予防獣医学 特別○○Ⅱ
家畜免疫学 家畜防疫学 食品衛生学 動物衛生学 人獣共通感染病学 予防衛生学 人獣共通感染症学 感染免疫学 家畜防疫学 動物疾病制御学 鳥類感染症学	病態・予防獣医学 特別○○Ⅲ

◎臨床獣医学講座

細目	授業科目名
大動物内科学 病態生理学 比較臨床病理学 内科診断治療学 寄生虫感染制御学 病態免疫学 寄生虫免疫学 臨床栄養学 動物臨床麻酔学 小動物応用免疫学 産業動物獣医学 臨床生化学 小動物感染症学 寄生虫病学 臨床検査学 分子診断治療学 臨床細胞学	臨床獣医学 特別○○Ⅰ
外科治療学 臨床免疫学 外科診断学 細胞生化学 獣医放射線学 臨床腫瘍学 腫瘍外科学 外科診断治療学	臨床獣医学 特別○○Ⅱ
臨床生殖内分泌学 家畜生殖工学 家畜生命工学 大動物繁殖学 動物生殖工学 臨床繁殖学 繁殖生理学	臨床獣医学 特別○○Ⅲ

教 員 の 個 人 調 書

履 歴 書				
ふりがな	やまぐち たろう	①・女	本籍地 (都道府県のみ)	山口 都・道・府・②
氏 名	山 口 太 郎		現 住 所	山口市吉田1677-1
生年月日 (年齢)	昭和 年 月 日 (才)			
学 歴				
年 月	事 項			
平成3年4月 平成9年3月 平成10年4月 平成14年3月	山口大学農学部獣医学科 入学 山口大学農学部獣医学科 卒業 山口大学大学院連合獣医学研究科 入学 山口大学大学院連合獣医学研究科 修了	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 2px;">← 学科まで記入してください。</div>		
職 歴				
年 月	事 項			
平成19年4月 平成24年4月	山口大学准教授農学部 山口大学准教授共同獣医学部 (現在に至る。)			
学会及び社会における活動等				
年 月	事 項			
平成15年4月	日本獣医師会会員			
賞 罰				
年 月	事 項			
	なし			
上記のとおり相違ありません。				
平成 年 月 日		氏名		印

研究業績書

作成前に必ず以下の記載要領をご確認ください！
論文数や内容の誤謬等十分注意し、差し替えのないよう
お願いします。

平成 年 月 日
氏名 山 口 太 郎 印

発 表 論 文 の 詳 細

[著者名 (全員), 論文名, 学協会誌名, 発表年, 巻, 最初と最後の頁]

1. 記載要領

- 1) 発表した論文を現在から過去に遡り、論文別刷りに付した番号順に記入してください。
- 2) 最近5ヶ年のものについては発表年月を記入してください (申請月から起算した過去5年のものまでよい)。
- 3) 本人には下線を付し、論文に明記されている場合の corresponding author には*印を, double first author には**印を, corresponding author で double first author には*(**) 印を氏名の右肩に付してください。
- 4) 氏名・タイトル・省略した雑誌名, ページ等を正確に記入し, コンマ・ドット等の表記方法, 位置を同様にしてください。

2. 記 載 例 (①2018年7月申請とすると2013年6月以降が, ②2019年1月申請とすると2013年12月以降が5年以内で, “月”の記載が必要)

1. 山口太郎*, 小野一晃, 齋藤章暢, 大塚佳代子, 柴田 穰, 正木宏幸. 市販食肉におけるサルモネラとリステリアの汚染状況. 日獣会誌. 2014 Jun; 受理 (印刷中) .
2. Yamaguchi T*, Givel F, Perroud M, Wahli W. Signaling cross-talk between peroxisome proliferator-activated receptor/retinoid X receptor and estrogen receptor through estrogen response element. Mol Endocrinol. 2013 Jul; 9: 794-804.
3. Lind DL, Fidel JL, Gay JM, Mealey KL, Yamaguchi T*. Evaluation of vincristine-associated myelosuppression in Border Collies. Am J Vet Res. 2013 Feb; 74: 257-261.
4. 大塚佳代子, 小野一晃, 齋藤章暢, 柴田 穰, 正木宏幸, 山口太郎. 市販食肉におけるサルモネラとリステリアの汚染状況. 日獣会誌. 2011 Dec; 42: 793-796.
5. Givel F, Perroud M, Yamaguchi T. Signaling cross-talk between peroxisome proliferator-activated receptor/retinoid X receptor and estrogen receptor through estrogen response element. Mol Endocrinol. 2009 Oct; 9: 794-799.
6. Givel F, Yamaguchi T**, Perroud M, Wahli W. Signaling cross-talk between peroxisome proliferator-activated receptor/retinoid X receptor and estrogen receptor through estrogen response element. Nature. 2006; 9: 794-804.
7. Givel F, Yamaguchi T**(*), Perroud M, Wahli W. Signaling cross-talk between peroxisome proliferator-activated receptor/retinoid X receptor and estrogen receptor through estrogen response element. Vet Pathol. 1998; 9: 794-804.

著書名は and を使わずに記入してください。

職 務 調 書

平成 年 月 日

氏名 山口 太郎 印

就任後の勤務先 [学部・学科等(所属部局)の名称]	就任後の 職名	連合獣医学研究科 の 担当授業科目名	単位数	担当授業 の 分担割合	備 考
山口大学共同獣医学部 ・ 獣医学科	教 授	臨床獣医学特別講義Ⅲ	2	1	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; display: inline-block;"> D合教員の場合、講義はなしで、演習・実験が1/2以下になります。 </div>
		臨床獣医学特別演習Ⅲ	1	1	
		臨床獣医学特別実験Ⅲ	1	1	
		↑	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> 講義，演習，実験の順に記入してください。 ローマ数字については「別表」を参照してください。 </div>		
					注 担当授業の分担割合の表示は1人で担当の場合は1，複数で担当の場合は1/3等の分数で記入してください。